

教育実習（中）
Teaching Practice at Junior high school
科目ナンバー：03EAB4

実習

5単位 1,2学期

【担当教員】

伊藤 敦美

【教員室または連絡先】

物質・材料経営情報1号棟509室

【授業目的および達成目標】

〔授業目的〕

教育実習はこれまで履修してきた教職の授業の集大成であり、また各履修生が、学校現場において「教師」として立つ貴重な時間である。これまで大学で修得してきた知識や技術を十分には発揮して充実した教育実習をおこなうことが目的である。またわずかな期間ではあるが、児童生徒にとっても大事な教育の時間でもある。生徒、そして指導していただける高等学校の先生方や保護者の方に満足していただけるような教育実習をおこなうことが目的である。また本学の「教育目的 3」「意思疎通能力を有した技術者を育成」することや「教育目的 7」「指導的な役割を果たすこと」の育成を図る。

〔達成目標〕

- 1) 事前指導を通して、教員としての基礎・基本、実習の意義と目的を理解すること、及び、模擬授業において教科の指導方法について再確認することにより有意義な教育実習を行う。
- 2) 教育実習においては、実習校の教育目標に従い、教科指導力、生徒指導力を身に付ける。
- 3) 事後指導を通して、教育実習における学びを振り返り、自己の課題を認識する。

【授業キーワード】

事前指導、学習指導案の作成、模擬授業、教育実習、事後指導

【授業内容および授業方法】

〔授業内容〕

- 1) 事前指導（教育実習の心構え、模擬授業等）
- 2) 教育実習（実習校にて）
- 3) 事後指導（教育実習の振り返り）

〔授業方法〕

- 1) 事前指導 … 講義および模擬授業
- 2) 教育実習 … 各実習校にて実習
- 3) 事後指導 … 報告および意見交換

【授業項目】

- | | | |
|-----|------|--------------------------|
| 第1回 | 事前指導 | 教育実習にあたっての心構えと準備 |
| 第2回 | 事前指導 | 教育実習の概要と教員の服務・勤務の理解 |
| 第3回 | 事前指導 | 実習日誌の記入方法。授業観察の方法、記録の取り方 |
| 第4回 | 事前指導 | 学習指導案の作成と模擬授業 |
| 第5回 | 事前指導 | 学習指導案の作成と模擬授業 |
| 第6回 | 事前指導 | 学習指導案の作成と模擬授業 |

教育実習（各実習校にて）3週間

授業観察、授業参加、実習授業、研究授業、生徒指導、部活動の指導
学級経営に関する指導（朝会、昼食、帰りの会、清掃など）、生徒指導
教員の職務に関する実習

- | | | |
|-----|------|----------------------|
| 第7回 | 事後指導 | 教育実習報告1）（実習の報告と意見交換） |
| 第8回 | 事後指導 | 教育実習報告2）（自己課題の確認） |

【授業時間外学習（予習・復習等）】

学習効果を上げるため、教科書等の該当箇所を参照し、授業内容に関する予習を90分程度行い、授業内容に関する復習を90分程度行うことが望ましい。

【教科書】

【参考書】

「教育実習ハンドブック」 柴田義松 学文社
「教育実習完全ガイド」 山崎英則 編著 ミネルヴァ書房

【成績の評価方法と評価項目】

事前指導の指導案作成と模擬授業（30％）・事後指導の発表（20％）・実習校の評価（50％）

【留意事項】

（１）教科「理科」の教育実習（中）希望者は、原則として前年度学年末までに、「教育課程論」（２単位）、「理科教育法Ⅰ～Ⅳ」（８単位）、「特別活動論」（１単位）、「教育工学・方法論（情報通信技術の活用を含む）」（２単位）、「生徒・進路指導論」（２単位）、「教育相談の基礎」（２単位）の全てを修得していなければならない。

（２）教育実習の希望者は年度始め（４月）の教育実習ガイダンスに必ず出席すること。

【参照ホームページ名】

平成29・30・31年改訂学習指導要領（本文、解説）

【参照ホームページアドレス】

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1384661.htm

【備考】

特になし。

【ディプロマポリシーとの対応】

- 【】 １． 理数の技法と技術科学の見方
理数とデータサイエンスの概念・技法の習得、及び社会を支える様々な技術の科学的理解。
- 【】 ２． 思考力・表現力と社会的視野
理解・思考・表現・対話の基礎である言語・論理力の習得、及び技術と社会、安全、環境との関わりの理解。
- 【】 ３． 専門の基礎力
技術科学各分野の専門の基礎知識と技能、及び情報技術を使いこなす能力の習得。
- 【】 ４． コミュニケーションと協働の力
英語による技術コミュニケーション基礎力、及び国際感覚を持ちチームで協働できる能力の習得。